## 武蔵野市ごみ減量協議会提言一覧と進捗状況管理表(平成25年度末時点)

	第1期・第2期ごみ減量協議会より	の提言	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	長期目標	
生ごみ	3「生ごみ活かす君」の普及活動		進する会との協働 1マグネットステッカー貼付 2一次処理物受入・収穫祭実施 3情報紙・イベント等での広報 4コンポスター、ダンボール法の普及			継続実施	生ごみの水切り ・ エコクッキング 等の発生抑制を継続して啓発・広報(市報・HP・ごみ減量情報紙等) コンポストガーデンの運用⇒啓発施設としてのありかたを検討し、運用する 生ごみ堆肥化の啓発活動					生ごみ資源化・堆肥化	
	5コミセンへのコンポスター普及活動 6生ごみ堆肥化パイロット事業実施 7生ごみゼロ家庭への差別化		6生ごみの分別・回収実験実施= 市民農園優先枠確保は困難 独自用地の確保困難 7検証が困難なため難しい。	済済		継続実施	生ごみの資源化施策について引き続き調査を行い、費用対効果・環境負荷の軽減等の側面から検討していく。					発生抑制の実現	
	8生ごみ減量 発生量の6%(450t/年 9剪定枝葉·落葉の資源化 10モニターによるごみ減量		8広報による啓発を推進 9一般家庭・業者持込を資源化 10引き続き減量協議会にて検討	資源化 <b>済</b> こて検討	<b>\</b>	継続協議							
	F賀はがきの郵便局自主回収 新聞販売店自主回収の促進		2郵便局に自主回収実施を依頼	<b>済</b> ≒ 済	>	継続協議		自主回収の原	広報·利用促進 拡充を	目指す		自主回収·集団回収	
	4集団回収団体組織率の向上 市民団体との連携・集合住宅における 5各家庭での紙ごみの排出抑制	開拓		(174団	団体 21317世帯)	入 8団体 612世帯の新規加入 (184団体 20,890世帯) 継続実施	(188団体 21,334世帯)	15団体 600世帯の拡充 (203団体 21,934世帯) 雑紙の資源化を継続して	15団体 600世帯の拡充 (218団体 22,534世帯) こ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	15団体 600世帯の拡充 (233団体 23,134世帯) - ムページ・ごみ減量情	15団体 600世帯の拡充 (248団体 23,734世帯) 報紙等)	の倍増・行政回収の 半減を目指す	
	5詰め替え商品販売の促進 6「環境優良店」認定の検討		1協定をスーパー12社と調印 レジ袋削減キャンペーン実施	<b>∃</b>		協定の拡充 総続実施 継続してレジ袋削減キャンペーン ・ 辞退率の把握を実施					1 30代地 旧來 500/ 日 標 等		
器包				⇒ <b>済</b> 済	PET店頭回収機 の導入断念	継続実施継続実施	店頭回収の促進・ 広報					レジ袋辞退率60%目標達 成 店頭回収の定着・拡充	
			6協定にのっとって推進		ジ袋協定・ECOパート ナーの枠組みで推進								
全 体	クリスチック回収方法の見直し 家庭ごみの収集回数削減 資源回収の見直し となるが市民にしていない。単品ごと		1減容化収集車を検討したが、 費用対効果にて断念 2容リ法及び委託事業者の指定 ルートにより適切に資源化実施	済	<b>▶ 【継続協議</b> 】			数値・ 収集プ	方法 ・ 収集回数 ・ 耆	貴用の検討			
会			2年目となるが市民に充分浸透 していない。単品ごとの変更は 市民に混乱が生じるため見直しに	はまとめ、									
	1日1人当たりの家庭ごみ排出量 目標	値	722		711	700	696	692	688	684	680		
	[g/人・日]   実績     ごみ発生量[t/年]   目標		692.4 51834		679.5 51191	676 50544	675.1 50249	49944	49635	49317	48993	-	
ご蔵み野	ごみ発生量[t/年] 目標 家庭·事業·集団回収 実績		47964		47690	47335	44959					1	
) 処理					基本計画						-		
(ごみ)処理基本計画武蔵野市一般廃棄物								26年度から 基本記	十画の見直し				